

## 生徒指導にかかわる現状と課題

部長 山田修平

### 1 生徒指導の動向

県学校教育の重点を受け、各地区学校教育研究会では次の3点を中心に特色ある取組が展開された。(1)社会性の育成(2)中学校区単位での小中学校連携及び小中一貫教育の取組(3)いじめ・不登校未然防止を図る「深めよう絆 県民運動」の推進。

**上越市**では中学校と連携した生徒指導研修会を毎年実施し、中学校区単位で連携した取組を行っている。学校だけで解決困難なケースについて JAST(上越安心サポートチーム)で対応し、大きな力を発揮している。また、各学校からの支援要請に従い、上越教育大学教職大学院の学校支援プロジェクトが、学級づくりや人間関係づくりなどについて、学級担任と連携した取組を行った。

**十日町市**では、すべての中学校単位で「小中一貫教育」の枠組から、いじめ・不登校解消に向けた取組を進めている。**十日町市立川西中学校**では、社会性育成を「いじめ・不登校」解消の柱ととらえ、なかまづくり推進事業やソーシャルスキル育成の授業作り研修などに取組んだ。**長岡市・三島郡**では、生徒指導講演会を企画し、長岡中央総合病院の田中篤氏を講師に、「問題を抱えた子どもへの理解と対応」について研修を深めたり、生徒指導主任研修会の開催を通して地区別の取組の紹介や情報交換を行ったりした。

**佐渡市**では、地域の人との絆を深める活動として、全島一斉あいさつ運動に取組んだ。**金井中学校**では、学区小中学校の校門、佐渡病院玄関前、市役所玄関前で実施した。また、不登校児童生徒の対応に理解を深めるため、市内の全小中学校生徒指導担当者が参加した生徒指導研修講座を実施し、研修及び情報交換を行った。

**新潟市**では、研究主題「心を育てる～かかわり合い、共に育つ集団を目指して～」を掲げ、授業研修会や講演・演習などの研修を実施した。授業研修会では、**黒埼南小学校の藤島孝広先生**が6学年学級活動で「縦割り班清掃を考える」をテーマに授業を実施した。研修会では、4回にわたって講師を招いた講演会や演習実施を通して、支援が必要な児童理解の視点や具体的な支援方法について、理解を深めた。

### 2 生徒指導の課題

○万引き発生の増加、インターネット上の仮想空間でメール交換等をめぐっての問題発生など、小学校においても中学校同様の問題発生が見られるようになってきた。生徒指導上の問題行動が低年齢化、広域化の傾向にある。子どもの生活実態から親も教師も目を離さず、問題行動が発生しないように適切な未然防止策や啓発活動を積極的に講じていく必要がある。